

矢巾町教育振興運動推進委員会

- 「テーマ」
- 震災を超えて・新たな教育課題への取組
組織の見直し・地域コミュニティ再生の取組
 - PDCAサイクルによる推進の取組
年間を通じた全県共通課題・モデルプログラムの取組
 - 地域ぐるみによる「いわての復興教育」の取組
防災教育・被災地支援交流・地域を担う人材育成の取組

活動の様子



『 矢巾型教育振興運動のさらなる展開を目指して 』

～PDCAサイクルの導入に向けたリーダー養成の取組～

1 地域の教育課題

本町では、子どもたちに社会の中でたくましく生きる力を育みたいという地域の大人たちの願いのもと、幼児期からの「あいさつ運動」の推進と、子ども会活動等を通じて社会体験等の機会を増やす「ふれあい運動」の推進の2つを主な教育課題（テーマ）としている。

この方針と推進体制は「矢巾型教育振興運動」として20年以上にわたり一貫して継続されているところであり、現在では「みんなで教振！10か年プロジェクト」を経てさらなる充実が図られ、町内全ての地区子ども会及び保育・教育機関等であいさつ運動・ふれあい運動の推進が図られている。

しかしながら一方で、関係者の間には年間活動のマンネリ化を懸念する声もあることから、今後より実効性の高い形で教育振興運動を展開するべく、PDCAサイクルの導入に向け、地域のリーダー養成や先進事例の研究、モデル事業の実施等に取り組んでいく必要があると考えている。

＜課題の裏付けデータ＞

- 「あいさつ運動・ふれあい運動」実施率
- ・町内の保育園・幼稚園・小中学校・高等学校…14機関（100%）
- ・町内子ども会…45地区（100%）

2 役割分担と年間の計画

○課題解決のためのそれぞれの役割

- ＜子ども＞
- 心と体を鍛え学習に取り組み、社会奉仕
- ＜保護者＞
- 基本的生活習慣の育成
- ＜先生＞
- 家庭・地域と連携し、生きる力を育む教育
- ＜地域＞
- 自治公民館単位で教振のテーマを設定、周知
- ＜行政＞
- 教振の学習機会と啓発推進

○課題解決のための年間の取組

- 4月…第1回常任委員会、定期総会
各振興区総会
- 6月…第1回事務局会議
- 9月…自治公民館長（推進幹事）学習会
- 10月…教育振興運動・子ども会育成会連合会
合同研修会
- 11月～1月 各振興区集約集会
- 12月…第2回事務局会議
- 3月…各実践区総会
教育振興運動のまとめ発刊

3 取組の様子

PDCAサイクルの導入に向け、まずは各実践区で教育振興運動の推進に中心的な役割を果たす推進幹事（＝自治公民館長）の理解を深めることが必要と考え、本年度は県の教育振興運動市町村研修会事業を活用し、推進幹事を対象に研修を実施した。

町自治公民館連絡協議会の協力のもと、9月1日に行われた自治公民館長研修会の第2部として、岩手県教育委員会生涯学習文化課の佐藤敦士主任社会教育主事を講師に迎え、本町の教育振興運動をテーマに講話をいただいた。

佐藤主任からは本町の教育振興運動を客観的に分析していただき、その長所や改善すべき点、PDCAサイクル導入へのアドバイスなど貴重な助言を数多くいただくことができ、非常に有意義な研修となった。今後各実践区でPDCAサイクルの導入が進むことを期待している。

4 課題解決を判断する評価の方法

現時点では、各実践区・振興区における活動の実施率等を主な指標としている。

今後PDCAサイクルを本格的に導入した場合には、その運用にあたり評価指標及び方法の見直しが必要になるものと考えている。